

小説の表現の研究

教授 石出靖雄

1. 研究内容

日本の明治から現代までの小説を対象として、その表現や語りの特徴について研究する。特に夏目漱石を中心に、日本の多くの作家を扱う。現代においては、村上春樹など既に安定して高い評価を得ている作家を対象とする。小説は、現実には存在しない語り手が聞き手に対して語るという形式をとるのが一般的だが、その語りには色々な仕掛けや言語的特徴が見られる。読者である私たちは、その多様な表現と語り方によって文学的世界に引き込まれる。本演習では、学生各自が小説テキストの語りの方法や表現効果について調査・考察することによって、小説の表現を追究していく。

2. ゼミの進め方

《2年次》

春学期は基本的な全体学習を行った後、短編小説のグループ研究を行い、物語論の基礎を学ぶ。
秋学期は基本的な全体学習に加えて、夏目漱石のテキストについてグループ研究を行う。
合宿は夏季・春季休暇中に実施する。合宿ではグループ発表と討議、見学を行う。

《3年次》

春学期はグループ発表により日本語学的に表現研究の基礎を学ぶ。
秋学期は各自のテーマによる個人研究を行う。
合宿は夏季・春季休暇中に実施する。合宿ではグループ発表と討議、見学を行う。

《4年次》

春学期は一つの小説テキストをグループで分担し読み終える。
秋学期は論文の作成と指導を行う。
合宿は夏季・春季休暇中に実施する。合宿ではグループ発表と討議、見学を行う。

3. 教材

2年次は、『現代文学名作選』（明治書院）と石出靖雄『漱石テキストを対象とした語り言語の研究を』（明治書院）を教科書として使用する予定である。また、ジュネット「物語のディスカール」（水声社）、ジュネット「続・物語のディスカール」（水声社）を参考図書として使用する。3年次は、『現代文学名作選』（明治書院）を教科書として使用する。また、種々の小説テキストを使用する。

4. 成績評価の方法

課題への取り組み姿勢、成果報告（発表・レポート）、ゼミ共同研究活動への参加状況等、総合的に判断する。

5. ゼミ入室試験（選考方法）

選考方法につきましては、Oh-o!Meijiにて、後日連絡します。

6. その他・志願者へのメッセージなど

このゼミでは、小説テキストを丹念に読み、その表現と内容について文学的・日本語学的に追究しています。基本的には、小説理論と日本語表現を学び、考え、調べ、発表討論するという座学です。学年を越えてゼミ生同士がコミュニケーションをとりあい研究を深めています。時々文学散歩を行い、小説の舞台を訪ねる活動も行っています。日本語や小説について真摯に前向きに取り組める学生の入室を待っています。

なお、事前の物語論の知識は問いません。